

2020年4月27日

東京都知事 小池百合子 様

平和と民主主義をめざす全国交歓会・北部実行委員会

平和と民主主義をめざす全国交歓会・南部実行委員会

新型コロナ対策に関する緊急要請

新型コロナ対策での日夜のご奮闘、ご苦労さまです。

しかし、コロナウイルスは市中感染となり感染拡大、死亡者の増加は深刻なものとなっています。特措法「緊急事態宣言」および「緊急措置」は検査・治療の拡大とならないばかりか、在宅死亡、路上死亡、家庭内感染を顕在化し命の危険を拡大しています。市民の命と健康を守るために以下のことを緊急に要求します。

要請事項

- 1 PCR検査拡大のために、大胆な財政出動をし、無料の検査とし、医療機関・スタッフへの補償と手当支給をおこなってください。

医師会と区の協力で設置され始めた検査スポットでは、検査料を3千から2万円も払わなければならない、誰もが受けられるものになっていません。命の危険が迫る事態にてらし、公費で無料の検査とすべきです。

また、検査スタッフの費用は医療機関の持ち出し(自己負担)であり、スタッフが集まらず、十分に機能していません。公費で補償と手当支給を行ってください。

- 2 「37.5度の発熱4日」という検査基準をやめ、必要な人や希望する人が、検査を受けられようにしてください。検査待機や遅れにより重症化し、命を落とす痛ましい犠牲者が発生しています。「積極的疫学調査」(厚生労働省)ではなく、診断や治療のための検査を実施してください。

検査が増えると隔離入院する人が増え、「医療崩壊」をもたらすから検査を抑えるという考え方を取らないでください。早期発見、早期治療こそウイルスに勝つ道です。

- 3 陽性となった患者さんの自宅待機をやめ、公費を大胆に出動し、適切な隔離施設、治療病床を数万規模で建設・確保してください。協力している医療機関に財政補償を行ってください。

自宅待機者の正確な数を都は公表されていませんが、数百名にのぼります。感染症病床と隔離施設(宿泊施設)はすでに足りていません。報道によれば「船の科学館」などが土地を提供し、臨時の病床を建設してもよいと言っています。病床を増設すべきです。

感染症病床に協力している医療機関では、減収や費用の持ち出しとなっていますので、

公費で補償すべきです。

- 4 連休に入っても、検査や相談窓口を閉じないでください。
- 5 特措法「緊急事態宣言」及び「緊急措置」は、検査拡大・治療拡大をないがしろにし、感染拡大防止につながっていません。そればかりか補償なき休業の強要により、経済的損失、所得減収、雇用不安など耐え難い権利侵害を生み出しています。ただちに都が主体的に判断して撤回し、市民の命と暮らしをまもるため財政出動してください。感染防止の情報公開を民主的におこない、外出自粛や「社会的距離」を市民が自覚的に行っていく施策に転換してください。

以上

*連休明けに、要請内容について考え方を聞かせていただく機会をもっていただくようお願いいたします。

〈連絡先〉 平和と民主主義をめざす全国交歓会
足立区千住関屋町8-8 2F